

「将来の土木技術者へ」 建設業の魅力・現場を感じてもらおう見学会

工事名：平成27年度東海環状赤坂北第一高架橋内回り鋼上部工事

発注者：国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 受注者 瀧上工業株式会社

実施日：平成29年12月8日

未来の技術者となる生徒さんに建設業・橋梁業界へ興味を持ってもらうきっかけを作る目的で、岐阜県立岐南工業高等学校の1年生40名を対象に現場見学会を開催しました。



事業概要の説明・座学【桁製作・架設】



鋼コンクリート合成床版の構造講義



コンクリートスラブ試験実施



コンクリート締固め体験



鉄筋結束体験 最初はなかなか…何回もトライして上達！



現場に移動中のバスにて当社岐南工業高等学校OBの技術者と若手女性技術者が学生さんに建設業の魅力、仕事のやりがい等を伝えました。

現場に着いてからは、東海環状自動車道の事業概要及び鋼橋の製作から架設までの流れを学んでいただきました。桁の上では、実際の合成床版を見ながら、床版の構造について説明をしました。また、学生さんが初めて体験する鉄筋結束やコンクリート締固めの作業を生き生きと取り組んでいる姿に、私どもも大いに刺激を受け、笑顔のなか無事に現場見学会を終えることができました。

この度の見学会は、「将来の若手技術者へ」をテーマに、入社1年目の若手技術者から勤続30年以上のベテラン技術者がうまく融合して取り組むことが出来たと感じています。学生さんには、これを機に土木そして鋼橋に興味を持ってもらえれば幸いです。

「将来の土木技術者へ」 建設業の魅力・現場を感じてもらおう見学会

日刊建設工業新聞

平成 29 年 12 月 12 日掲載

建通新聞

平成 29 年 12 月 14 日掲載

業界・行政ニユース

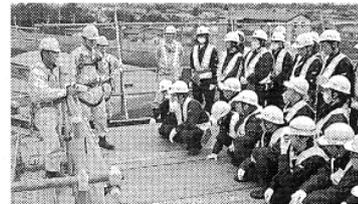
瀧上工業の現場で
岐南工高生見学会

岐阜県道

国土交通省岐阜国道事務所は8日、岐阜県立岐南工業高校の建設工学科生徒40人を対象に、東海環状自動車道の大垣西インターチェンジ（IC）

（大野・神戸IC間で建設している赤坂北第1高架橋の現場見学会を開いた。生徒らは公共工事や建設機械の役割を学ぶとともに工事現場の雰囲気を感じた。写真。見学会したのは「東海環状赤坂北第1高架橋内回り鋼上部工事（瀧上工業）」の現場。生徒らは「建設現場の

作業内容などがよくわかった。貴重な体験ができた」と話した。



橋梁の架設方法学ぶ

瀧上工業、東海環状上部工現場で

瀧上工業は8日、岐阜県大垣市で進めている東海環状赤坂北第1高架橋内回り鋼上部工事の現場で、県立岐南工業高校の生徒を対象とした見学会を開いた。女子生徒5人を含め土木科の1年生40人が訪れ、橋梁の



架設方法などを学んだ。コンクリートの締め固めや鉄筋の結束など現場作業も体験した。

見学会では、発注者の中部地方整備局岐阜国道事務所の森谷竜一建設専門官があいさつし、東海環状自動車道路の役割などを説明。上田晃正所長が工場製作

や、夜間通行止めにし国道21号上を送り出し架設する様子を映像で紹介した。その後、現場に移動し合成床版の構造などを見学。スランプ試験やバイブレーターを使ったコンクリートの締め固め、写真、鉄筋の結束、短管つなぎなどの作業を、担当者の説明を受けながら実際に体験した。

東海環状赤坂北第1高架橋内回り鋼上部工事の概要は、延長340m。鋼4径間連続非合成箱桁橋（合成床版）、橋長340m、最大支間長106m。架設工法は送り出し架設。鋼材は約2255ト。工事場所は大垣市福田町。工期は18年3月。